

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社リョウワ							
代表者名	氏名	五味 達也	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県茅野市米沢245							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	28 電子部品製造業						
主たる事業の概要	プリント配線板製造販売							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2041	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	5	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

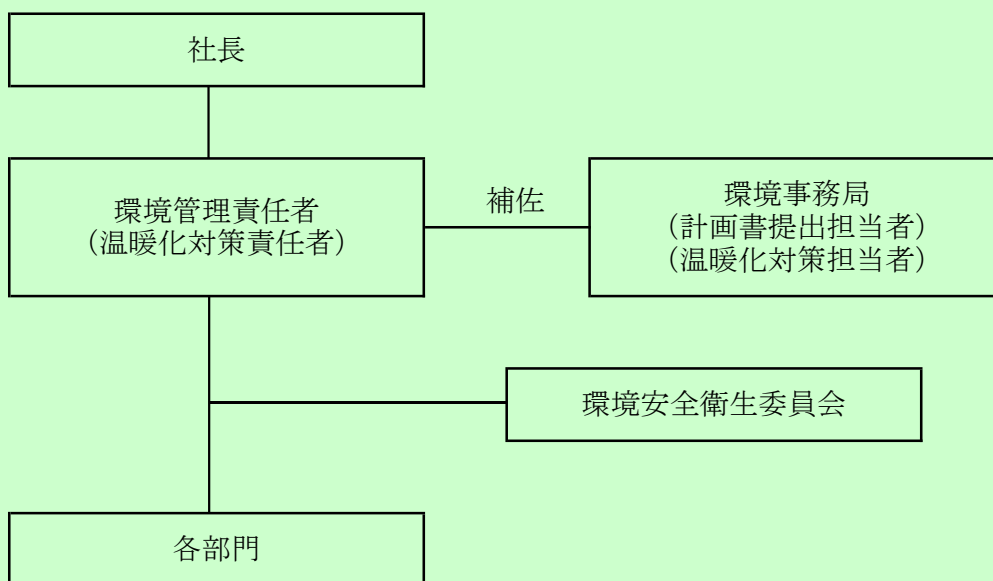
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	株式会社リョウワ 総務部 TEL:0266-73-5470 8:30～17:30
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

私たちは、限られた資源を大切に使いながらプリント基板の製造に取り組み、常に環境との調和を考えた「地球に優しい製品づくり」を目指します。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,712	t-CO ₂	売上高	2,412	単位	百万円	
25年度	調整後排出量	2,892	t-CO ₂	基準原単位	1.54	t-CO ₂ /	百万円	
目標年度	目標排出量	3,601	t-CO ₂	目標原単位	1.49	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	エネルギー使用原単位を年1%削減する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,417	t-CO ₂	売上高	3,577.00	単位	百万円	
	調整後排出量	4,389	t-CO ₂	原単位	1.23	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	(19.00)	%	削減率	20.12	%		
排出量等の増減理由	売上高が対前年比148%と大きく増加したことにより、工場の稼働時間も長くなった為、結果的に排出量は19.00%増加となりました。しかしながら、原単位では20.12%削減が出来、エネルギー使用効率は改善しました。生産効率改善活動や設備保全活動に一定の成果があったものと考えております。							
第二年度	排出量	4,396	t-CO ₂	売上高	3,386.00	単位	百万円	
	調整後排出量	4,375	t-CO ₂	原単位	1.30	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	(18.43)	%	削減率	15.58	%		
排出量等の増減理由	前年に比べ、売上高は若干減少したものの、エネルギー使用量も同様に若干の減少となり、排出量は18.43%増加となりました。年々顧客からのコストダウン要請による販売単価低下の影響と、難加工が増えたため、エネルギー効率向上が難しい経営環境のなかでも、品質向上活動などによる無駄なエネルギー消費の抑制に努めました。							
第三年度	排出量	4,371	t-CO ₂	売上高	3,521.00	単位	百万円	
	調整後排出量	4,343	t-CO ₂	原単位	1.24	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	(17.76)	%	削減率	19.48	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	前年から0.67%減少したが、3年度目の結果では17.76%の増加となりました。原単位では19.48%の削減が出来ており、エネルギー使用効率は改善しました。機種構成の変化による段取り作業の増加と、コストダウン要請による販売価格の低下はあるが、去年より改善しました。生産状況の変化に関わらず、ボイラーの稼働は一定である為、改善が伸び悩む原因となっていると考えます。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	16	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310500 生産効率改善による排出抑制	2014	42	2014	49
2	エネ起	310200 主要設備の保安全管理	2014	51	2014	62
3	エネ起	360703 コンプレッサの運転管理	2015	12	2015	10
4	エネ起	330208 空調設備の保安全管理	2016	30	2016	40
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	820		28	21	28
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,712	1	4,417	1	4,396	1	4,371
1,500k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	3,712	1	4,417	1	4,396	1	4,371

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	4	4	4	4
合計	4	4	4	4
自動車総数	5	5	5	5
次世代車導入割合	80	80	80	80

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	出張については極力公共機関を利用する
来客者の交通対策	公共機関の利用を依頼する
物流の合理化	出荷品について、可能な限りまとめて発送し、回数を抑制する

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2004年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物削減への取り組み ・クールビズ（ノーネクタイ運動） ・廃材のリサイクル
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・構外美化運動の実施 ・廃棄物の分別を強化し、有価物へ転換 ・仕損費削減による再作の低減
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・構外美化運動の実施 ・廃棄物削減と有価物転換 ・機械稼働時間の抑制
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・構外美化運動の実施 ・廃棄物削減と有価物転換 ・環境に配慮した設計の検討

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の間引き、インバーター化 ・エアコンの節約、温度設定 	150
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の入替えによる省エネ化の推進 ・ピークシフト（特定の電気消費が大きい設備の早朝稼働） 	24